



【ゼミ生が作るゼミ紹介冊子】

國學院大學 経済学部
令和8年度開講 「演習Ⅰ」
経済学会学生委員会



〈目次〉

I. ゼミ個別ブース相談会について 3

1. 日時・場所 3
 2. ゼミ個別ブースへ参加するまでの流れ 3
 3. 当日の注意事項 3
 4. ゼミ個別ブースのイメージ 3
 5. 参加ゼミ一覧 4
-

II. お知らせ 5

III. ゼミ紹介 6

I. ゼミ個別ブース相談会について

1. 日時・場所

- 5月11日(月) 13:00~14:25、14:35~16:00
- 5月20日(水) 13:00~14:25、14:35~16:00

※両日とも教室を使用し、対面で開催します。休憩時間は各ゼミによって異なります。

教室にて確認をお願いいたします。

※参加するゼミと時間帯、教室は2日前の5月9日(土)までに基礎演習 LINE グループを通じて連絡します。

2. ゼミ個別ブース相談会へ参加するまでの流れ

1. 1年次の基礎演習 LINE グループと教務課からのメールで当日の参加ゼミと時間帯、教室配置表が届く。
2. 参加したいゼミのブースがある教室に移動する。
3. 相談し終わったら、次に気になるブース(教室)に移動する。
4. 相談会の時間内で2~3の手順を繰り返す。

3. 当日の注意事項

- 1つのゼミに人数が集中した場合、すぐに入室できない可能性があります。
※他のゼミを訪問してみてください。新たな発見があるかもしれません。
- 1ゼミあたり20分を目安にし、多くのゼミを見学して比較しましょう。
- ブースにいる先輩ゼミ生に積極的に質問してみましょう。
- 当日は、他の教室では授業が行われています。他の授業の妨げにならないよう以下のルールを必ず守ってください。
 - ① ブース内での会話のボリュームに気を付けること
 - ② ブース外での友達同士の会話は最小限とすること
 - ③ 廊下に滞留しないこと

4. ゼミ個別ブースのイメージ

- 1教室に4~6ゼミがブースを作っています。
- 各ゼミの教室配置は、1年次に使用していた基礎演習のLINE等を通じて(教務課からのメールで)連絡します。

5. 参加ゼミ一覧

ゼミ名	11日(月)	20日(水)
大西ゼミ	○	○
小木曾ゼミ	×	×
尾近ゼミ	○※～15:00のみ	○※～15:00のみ
尾崎ゼミ	○	×
尾田ゼミ	×	×
小野ゼミ	○	○
木村ゼミ	○	○
齊藤ゼミ	○	○
櫻井ゼミ	○	○
東海林ゼミ	○	○
杉山ゼミ	○	○
鈴木ゼミ	○	○
高木ゼミ	○	○
高橋ゼミ	○※14:30～のみ	○
田原ゼミ	○	○
中馬ゼミ	×	×
手塚ゼミ	○	○
中田ゼミ	○	○
根岸ゼミ	○	○
芳賀ゼミ	○※14:30～のみ	○
濱田ゼミ	○	○
林ゼミ	○	○
藤山ゼミ	○	○
星野ゼミ	○	○
細井ゼミ	○	○
細谷ゼミ	○	○
堀江ゼミ	×	×
水無田ゼミ	×	○
宮下ゼミ	×	○
山本ゼミ	×	×
吉野ゼミ	×	○

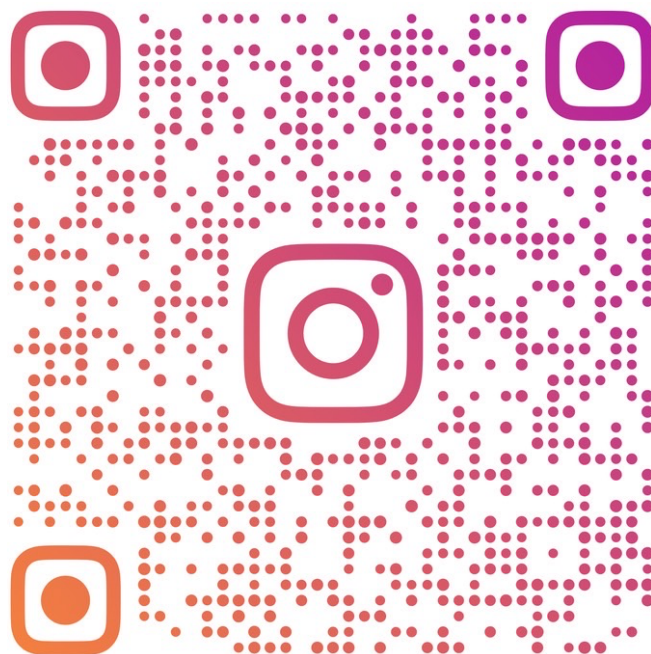
Ⅱ. お知らせ

経済学会学生委員会の公式 Instagram で随時情報を発信しています！

(5月4日(月)から各ゼミの紹介動画・画像を配信予定です)

公式 Instagram

@kgu_gakusei



KGU_GAKUSEI

Ⅲ. ゼミ紹介

これ以降は、ゼミ生が作成したゼミ文書になります。

ゼミ募集に関する公式情報は、学部の作成する「『演習Ⅰ』(ゼミ)募集要項」に記載されておりますので、必ずそちらも確認してください。

大西ゼミ……………7	中馬ゼミ……………35
尾近ゼミ……………10	手塚ゼミ……………37
尾崎ゼミ……………12	中田ゼミ……………39
尾田ゼミ……………14	根岸ゼミ……………41
小野ゼミ……………16	芳賀ゼミ……………43
木村ゼミ……………18	濱田ゼミ……………45
齊藤ゼミ……………20	林ゼミ……………47
櫻井ゼミ……………22	藤山ゼミ……………49
杉山ゼミ……………24	星野ゼミ……………51
鈴木ゼミ……………26	細井ゼミ……………53
高木ゼミ……………29	水無田ゼミ……………55
高橋ゼミ……………31	宮下ゼミ……………57
田原ゼミ……………33	吉野ゼミ……………59

大西ゼミ

◆研究テーマ：労働経済

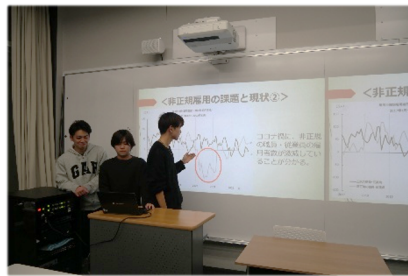
—労働市場において不利な立場にある人々の実態を通して社会について考える—

大西ゼミでは、労働経済とそれに関わる社会政策について研究しています。特に労働市場において不利な立場にある人々に焦点を当てて考えることで、日本社会や労働市場の構造的課題を明らかにし、これらの課題を改善するための社会政策について研究しています。

1. 大西ゼミについて

大西ゼミではグループワークも個人ワークもバランスよく行っているのが特徴です。具体的にはゼミ成果発表会や卒業論文執筆に向けて、ゼミ生同士で先行研究を報告したり、グループディスカッションを通じて多角的な視点から学びを深めています。

ゼミ生同士でコミュニケーションをとる機会も多いので自然と和気あいあいとした雰囲気の中で仲良く活動できるのも特徴です。



2. 先生について

- ・名 前：大西 祥恵
- ・専門分野：労働経済、社会政策
- ・担当授業：基礎演習 日本の経済 雇用と働き方 労働経済 社会政策論 演習

ゼミ生思いで優しい先生です。生徒の研究テーマに合わせて適切な指導をさせていただきます。

3. 年間スケジュール

1) 演習 I (2年後期)

- ・12月のゼミ成果発表会の準備、発表
- ・卒業論文に向けた個人研究

2) 演習 II A・B (3年生)

- ・卒業論文に向けた個人研究
- ・フィールドワーク
- ・ゼミ合宿

3) 演習ⅢA・B (4年生)

- ・卒業論文の研究、執筆

4.年間予算

- ・2年次：約 3,000 円 (食事会)
- ・3年次：約 20,000~50,000 円 (食事会、フィールドワーク、ゼミ合宿：場所により変動)
- ・4年次：約 3,000 円 (食事会)

5.ゼミ生の志望動機

- ・社会的に不利な人がどのように社会で生きていくのか知る必要があると思ったから。
- ・自身のアルバイトで労働環境に疑問を抱いたことがあり、詳しく研究したかったから。
- ・実際にゼミ見学をしてみて、雰囲気良かったから。

6.ゼミ生の卒業論文の例

- ・精神障害者就労に関して本当に必要な支援
：現行の就労支援と当事者が求めている支援のギャップに着目して
- ・職場文化と性別役割の固定観念が女性のキャリアに与える影響
- ・ワーキングプア解消に向けて
- ・地域資源活用による障害者雇用解決
- ・女子労働者活躍の阻害要因と解決への道筋
- ・障害者雇用における職場環境の適応と解決策
- ・障害者雇用と農業
- ・障害者雇用のダイバーシティ推進による企業の変化と影響
- ・外国人労働者のメンタルヘルス課題と解決策の検討
- ・日本のプロサッカー選手のセカンドキャリア支援事業について
- ・障害者雇用の現状 ダイバーシティ・マネジメントの観点から
- ・日本の雇用が迎える結末—AIは善か悪か—

- ・発達障害者の離職に影響を与える職場環境要因—制度と現場のギャップに着目して—
- ・地方における若者の雇用と就労について
- ・障害者雇用のさらなる発展の追求

7. このゼミに向いている人

- ・労働経済に関して学びたい事がある人
- ・自身のアルバイト先や家族の話で「この労働環境おかしいな」と疑問を抱いたことのある人
- ・働くことに関連する社会問題や社会政策に関心のある人
- ・グループワーク、話し合いが好きな人
- ・グループワークや個人ワークもバランスよくメリハリをもって学びたい人

・・・など

尾近ゼミ

◆研究テーマ：ミクロ経済学

ミクロ経済学の教科書を熟読し、経済学的な思考法と知識（概念および理論）を学習する。発表者が教科書該当部分から気になるテーマを3つほど選び、そのことについて全員でディスカッションを行い、理解を深める。

1. 尾近ゼミについて

- ・学び方
教科書中心
各学年で、ディスカッション中心
- ・おすすめポイント
少人数授業
ディスカッションの練習になる
勉強の習慣がつく

2. 先生について

- ・名前 尾近 裕幸(おこん ひろゆき)
- ・専門分野 ミクロ経済
- ・担当授業 ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ
- ・性格 優しい
- ・人柄 ただの生徒としてではなく、一人の大人として指導してくれる
- ・ちょっとしたエピソード サッカーが好きで、UEROを観に行ったことがあるそうです

3. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）
 - ・ミクロ経済学の教科書を読み、ディスカッションを通して理解を深めていく。
2. 演習ⅡA・B（3年生）
 - ・教科書を読み、ディスカッションを行う
 - ・卒業論文の準備
3. 演習ⅢA・B（4年生）
 - ・卒業論文の執筆

4. 年間予算

教科書 10,000円以下

5. ゼミ生の志望動機

- ・ミクロ経済学について学びたかったから
- ・少人数ゼミがよかったから
- ・授業の雰囲気が良かったから

6.ゼミ生の卒業論文の例

- ・『顧客獲得のために必要な差別化の程度に関する研究 -ホテリング・モデルによるシミュレーション分析-』
- ・『ゼロ・インテリジェンス市場の効率性に関する研究 -標準的なマイクロ経済学に対する疑問-』
- ・『イノベーション普及速度のシミュレーション分析』

7. 自由記述

詳しくは「『演習 I』(ゼミ)募集要項」をご覧ください。

尾崎ゼミ

◆研究テーマ：西洋経済史

西欧地域における経済の発展や変遷を研究する学問です。この分野では、産業革命、資本主義の誕生と発展、植民地主義、商業の拡大、社会的経済構造の変化など、西洋社会の経済的な側面を歴史的視点から検討します。また歴史の中で経済が社会・文化・政治に及ぼした影響を分析する。

1. 尾崎ゼミについて

- ・4年生は4限、3年生は5限に開講しています。
卒業論文について個人発表とグループ発表をします。
- ・研究テーマは西洋経済史とあるのですが、西洋経済史に限らず卒業論文のテーマの幅が広いので、自分が調べたいテーマに取り組むことができます。
- ・自分の気になる分野を深く知ることが出来ます。



2. 先生について

- ・尾崎先生は西洋経済史を担当しています。
- ・尾崎先生は気さくでとても優しいので、楽しい雰囲気 of ゼミになっています。

3. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）

- ・卒業論文の大まかなテーマを考える（3年以降の変更も可能）
各自或いは似た要素のあるテーマの人たちで参考文献を探す

2. 演習ⅡA・B（3年生）

- ・自身で決定したテーマについてさらに深く調べる
サマーセミナー
卒業論文の執筆を始める

3. 演習ⅢA・B（4年生）

- ・卒業論文の完成

4.年間予算

- ・参考文献費 ¥0 円（実際は ¥1000 円から 3000 円が多い）
各自のテーマによって変化しますが、専門的な参考文献は大学図書館で探すこともでき、見つけられなかったものも書店で購入すると良い。教科書はなし。
- ・飲み会費用 ¥3000 円から 9000 円
- ・サマーセミナー
通学の場合は 0 円
合宿の場合は ¥30000 円（場所は要相談）

5.ゼミ生の志望動機

自分の興味があるテーマを卒業論文で書けるから。
3年生で卒業論文を書き終えるから。
西洋経済史に興味があったから。

6.ゼミ生の卒業論文の例

- ・ピアノがなぜ発展したのか
- ・音楽と経済の関わりについて
- ・バスケのユーロリーグの活動と経済の繋がり
- ・フェンシングと経済の関わり

7. 自由記述

みんなで和気あいあいと活動しています！
お待ちしております！！

尾田ゼミ

・テーマ：企業や業界の調査・分析・戦略立案

特に、公開情報の収集と分析方法について、読むことと書くことを通じた学習を行います。

1. 尾田ゼミについて

- ・**学び方**：学年ごと（4年：月曜4限、3年：5限、2年：6限）1コマ90分、普通の授業のような形式
- ・**尾田ゼミに入ってよかったこと**：少人数だから発言しやすい。少人数のゼミなので退屈しません。一人一人が主体性を持って活動できる。少人数のため自分の作成したレポートなどをじっくり添削してもらえる。少人数で先生も発言することを促してくれるので、議論しやすい環境で学ぶことができる。

2. 先生について

- ・**尾田基**：1984年兵庫県神戸市生まれ。2007年一橋大学商学部卒業，2013年一橋大学大学院博士後期課程修了，博士（商学）。一橋大学イノベーション研究センター特任助手，東北学院大学経営学部准教授を経て，2020年度より現職。
- ・**担当授業**：「経営入門」「経営組織」「製品戦略」
- ・**人柄**：・ちょっとした雑談にも乗ってくれる。・接しやすく面白い先生。・話してみると意外と接しやすくて気楽に話せる先生です。・面白い先生です！

3. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）

2年後期はユニクロの創業者、柳井正の著作をとりあげ、マーケティング分析や財務諸表分析、他企業との戦略比較等を行います。比較的最小限にとって身近な企業ではありますが、大ヒットし成長したのは皆さんが生まれる前のことであり、ユニクロがどのように成長してきたのかについては知らない部分が多いかもしれません。歴史的経緯の確認の後は、各種公開情報の収集方法を学び、エクセルによるグラフの作成や、スライドを用いたプレゼンテーション、レポート執筆時にWordの各種機能で使うべき機能と使うべきでない機能、文章表現上のルールなど、基礎的な手法を一通り、ユニクロを通じて学習します。

2. 演習ⅡA・B（3年生）

3年前期は、特定の業界を対象として、問いを立て、調査し、レポートにまとめる作業をグループ単位で行います。前期が問いのないままに始める予備的な調査であったのに対して、後期は説明のつかない不思議な現象を探したり、解くべき重要な問題を探るところから研究プロセスの全体を経験します。3年後期は、毎年内容を変えていて、グループワークで何らかの調査プロジェクトを行うか、研究方法の本の輪読、研究手法の習得等、卒論を見据えての学習となります。

3. 演習ⅢA・B（4年生）

4年次は、卒業論文の執筆となります。4年前期はテーマや問いの設定を試行錯誤し、4年後期は各自調査を行ったり、卒業論文を執筆します。過去のタイトル一覧はWeb

(<https://odahajime.jp/>)で公開しています。

4. 年間予算

- ・柳井正『一勝九敗』（5~600円。中古ならそれ以下で買えます。）
- ・合宿や調査、学外イベントへの参加等で全員参加を要するものは予定していません。単発で自由参加の企画（何か見に行くなど）は提案するかもしれません。懇親会も定例の予定はしていません。各学年の雰囲気を見ながら、少人数でご飯を食べたり、卒パをやるかなどとその都度提案をしています。実績で年1回程度、任意参加。

5. ゼミ生の志望動機

- ・言葉のみならず、実際に現場に足を運び企業について研究したかった。また、主体性を持って活動したかったから。
- ・マーケティング戦略などについて事例を混ぜて深く学べると思ったから。

6. ゼミ生の卒業論文の例

- ・食品表示についてー消費者の購買意思決定をどのように変化させるかー
- ・ロゴと製品の関係：ロゴレス家電を対象に
- ・技術革新によるレトロ商品の復刻～様々なジャンルから見る技術の発展～

7. ゼミ生からひとこと

- ・ただ座って授業を受けるのが苦手な方などにはとても良いゼミだと思っています！興味のある方はぜひ公開ゼミにお越しください！
- ・とてもメリハリのあるゼミだと思います。気になった方はぜひ公開ゼミに来てみてください！

小野ゼミ

◆研究テーマ：企業研究

小野ゼミでは企業研究を行うことで企業情報を収集し、その企業がどういった企業であるかを分析、確認、理解することができます！

世界中の幅広い企業を対象に、決算書を用いた定量分析と企業の特徴や経営戦略を探る定性分析の両面から、実践的な企業研究を行います。

1. 小野ゼミについて

小野ゼミは基本各学年ごとに学習が行われ、グループワーク中心です！

企業研究のスペシャリストである小野先生の指導のもと、多角的な視点から企業を理解し、分析力や考察力を高めることができます。

2. 先生について

小野正人 専門：企業分析 キャリア開発 ベンチャービジネスなど

小野先生は企業についてたくさんの知識を持っているのはもちろんのこと、難しいことでもわかりやすく教えてくださります。

3. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期） チーム形式

反転授業＋チーム発表

半年間、4人または3人のグループで進んでいきます。『経営分析』という授業の反転授業、また好きな企業を分析して発表するのを各週ごとにグループ順に回していきます。

2. 演習ⅡA・B（3年生） チーム形式

共同企業研究、輪読

論読を中心で行っていきます。また、グループごとに共同企業研究を行っていきます。グループは2年生の時から変わります

3. 演習ⅢA・B（4年生） 個人形式

卒業論文に向けた企業研究

卒業論文に向けた企業研究を個人で行っていきます。

4. 年間予算

2年次 『イチから学ぶ企業研究』教科書費（2,530円）

3年次 『入門 企業分析の手法と考え方』教科書費（1,760円）

その他 ご飯会等は自己負担

5. ゼミ生の志望動機

「将来の目標が明確であった人」

- ・自分の就職したい企業をゼミを通して企業研究できることが強みだと思って志望した。

「将来の目標が明確でなかった人」

- ・小野先生の親しみやすさと学生同士が安心して意見を交わせる温かい雰囲気に惹かれた。

6.ゼミ生の卒業論文の例

『テイクアンドギヴ・ニーズ』『自動車業界における HONDA』

『ゲーム業界における任天堂』『メガベンチャー企業(DeNA)』

※2023年度の卒論テーマより引用

自分の関心のある企業1社(または特定のテーマ・業種)を選び、企業研究を軸にした卒業論文が多いです。

7. 自由記述

小野先生は、たくさん企業のについて色々なことを知っているのでお話を聞いてとても面白いです！みなさんの好きな企業や、就職してみたい企業などを研究できるので、興味をもって学ぶことが出来ると思います。

実際の講義を自分たちで分かりやすくまとめ、反転授業を行っているゼミは数少なく、希少なゼミです。また、企業研究に焦点を当てて考えていくことで様々な企業について知識を深めるとともに、分析能力も付いてくるので、就活に生きてきます。

ぜひ一度足を運んでみてください！一緒に企業研究をできるのを楽しみにしています！



木村ゼミ

◆研究テーマ：「金融と国際金融」から経済を学ぶ

本ゼミでは、キャッシュレス決済の今後の展望から地域金融システムの行方、ドルを中心とした国際通貨システムの展開まで幅広く研究します。現代金融の諸課題を深く探求するゼミです。

1. 木村ゼミについて

【ゼミの基本的な進め方】

- ・2 学年合同で進める
- ・金融論や国際金融論に関するテキストの輪読、ディスカッション

報告者⇒レジュメの作成とゼミ当日のプレゼンテーション

報告者以外⇒テキストを読んだ上で、質問を用意する

(教員の指示で適宜グループディスカッションも行う)

当ゼミでは専門知識だけでなく、資料の作成能力、プレゼン力、考える力(ロジカルシンキング)といった総合力を養うことも目的としています

2. 先生について

名前：木村秀史

専門分野や担当授業などの基本情報：国際金融論や国際通貨論が専門領域です。

担当する授業は「金融の基礎」「国際通貨と国際金融」になります。

指導スタイルやゼミ生と接する際に大切にしていること：

私の指導方針としては基本的にはアメとムチです。学ぶときはどのゼミにも負けないくらい厳しく指導し、ゼミ生の総合力向上を目指しています。しかし、その一方で普段はゼミ生とはフレンドリーに接することを心がけています

3. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）

- ・火曜 5・6 限(後期)

国内の金融に関するテキストの輪読、ディスカッション

テキストを読み事前に質問を用意し、授業内ではその質問を中心にグループごとにディスカッションをする

2. 演習ⅡA・B（3年生）

- ・火曜 4・5 限(前期)
- ・火曜 5・6 限(後期)

金融論や国際金融論に関するテキストの輪読、ディスカッション

3. 演習ⅢA・B（4年生）

- ・火曜 4・5 限(前期)
- ・火曜 4 限(後期)

金融論や国際金融論に関するテキストの輪読、ディスカッション、卒業論文

【ゼミ合宿】

3, 4 年生の夏休みに実施

- ・サブゼミ(発表など)
- ・屋内・屋外レクリエーション(ゲーム、バーベキューなど)

【他大学とのディベート大会】

- ・他大学と合同でテーマに沿ってディベート大会を行う
 - ・テーマごとに賛成・反対の2チームに分かれ、意見とスライド(資料)を用意する
- テーマの例：日本の将来の主力電源として、原子力発電を中心に据えるべきか、再生可能エネルギーを中心に据えるべきか。

4.年間予算

- ・教科書代：3000円(年間)
 - ・ディベート大会：0~30000円(場所により変動)
 - ・合宿費：30000円程度
- 総額：約30000円

5.ゼミ生の志望動機

「将来の目標が明確であった人」

- ・将来、金融業界に就職したいと思っており、金融の知識を学びたいという気持ちがあった。加えて、先輩方や先生の人柄に魅力を感じ、楽しく金融について学べるのではないかと思った。

「将来の目標が明確でなかった人」

- ・ゼミの雰囲気と先生の明快な講義スタイルに惹かれたため
- ・金融への興味と、先生との距離感や先輩たちとの深い交流に興味を持ったため

6.ゼミ生の卒業論文の例

- ・『企業から見た「貯蓄から投資へ」の必要性』
- ・『ASEAN+3における地域通貨協力の今後の方向性』
- ・『銀行券の債務性-非伝統的金融政策の新たな理解を目指して』

7. 自由記述

当ゼミでは、新聞を読むことが必須です。新聞を読むことを通じて世の中の現状を知って初めて勉強していることが生きてきます

先生のちょっとしたエピソード：意外ではないかもしれませんが、私は重度のアニメオタクです(笑)。私のバイブルとも言えるアニメは「進撃の巨人」で、これまで1500作品以上見てきてこれほど面白いアニメは他にはないと思っています。アニソンライブ等のオタ活イベントにも積極的に参加しています。仕事とアニメで忙しい毎日を送っております。

齊藤ゼミ

◆研究テーマ：マクロ経済・金融・国際経済

齊藤ゼミでは、教科書や日経新聞を題材にしながら、マクロ経済・金融・国際経済といった幅広い分野について学びます。単なる知識の暗記にとどまらず、実際の経済データや時事問題をもとに分析を行い、自分なりの視点で考える力を養うことを重視している点が特徴です。

1. 齊藤ゼミについて

本ゼミは少人数で行われる演習形式の授業で、学生主体の発表とディスカッションを軸に進んでいきます。教科書の内容をベースにしつつ、日経新聞の記事や統計データなども取り入れながら、それぞれがレジュメを作成して発表を行います。発表後は、その内容について全体で意見を出し合い、異なる視点に触れることで理解を深めていきます。こうしたやり取りを重ねる中で、ただ知識を覚えるのではなく、「なぜそうなるのか」を自分の言葉で説明できる力が身についていきます。さらに、テーマによってはグループで調査や発表を行うこともあり、一人で考えるだけでなく、他者と意見をすり合わせながら理解を深める機会も用意されています。日々のニュースを扱う場面も多く、普段何気なく見ていた情報をより具体的に捉えられるようになる点も、このゼミの大きな魅力です。

2. 先生について

齊藤誠先生は、マクロ経済学・金融論・国際経済を専門とされており、学生の主体的な学びを大切にする指導スタイルが特徴です。ゼミでは発表者の考えを尊重しつつ議論を深めていく形がとられており、必要な場面では的確なアドバイスや補足説明が加えられます。とくに、ニュースの背景や理論との結びつきを丁寧に解説していただけるため、単なる理解にとどまらず、一段深いレベルで内容を捉えることができます。落ち着いた雰囲気の中で、安心して意見を発信できる環境が整っている点も魅力の一つです。

3. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）

・まず経済学の基礎的な理論や考え方を身につけることを目的とし、教科書の輪読を中心に進めていきます。発表の機会も設けられており、レジュメの作成方法や人前で説明する力など、今後のゼミ活動の土台となるスキルを段階的に習得していきます。

2. 演習ⅡA・B（3年生）

・教科書に加えて日経新聞の記事や実際の経済データを積極的に扱うようになり、より実践的な内容へと発展します。各自がテーマを設定して発表を行い、それについてディスカッションを重ねることで、応用的な分析力や論理的に考える力を養います。また、自分の関心分野を深める機会も増え、主体的な学びがより求められる段階となります。

3. 演習ⅢA・B（4年生）

・これまでに培ってきた知識や分析力をもとに卒業論文の執筆に取り組みます。テーマ設定から資料収集、分析、執筆までを一貫して行い、中間報告や最終発表を経て研究をまとめ上げていきます。これにより、自ら課題を設定し、論理的に結論を導く力を総合的に身につけることができます。

4.年間予算

・ゼミ活動にかかる費用は、基本的に教科書代として数千円程度に限られており、それ以外に大きな出費が発生することはほとんどありません。そのため、経済的な負担を気にせずに学業に集中できる環境が整っています。

5.ゼミ生の志望動機

- ・ニュースをちゃんと理解できるようになりたくて、日経新聞を扱う点に魅力を感じた
- ・将来金融系に進みたいので、マクロや金融を実践的に学べる環境に惹かれた
- ・プレゼンやディスカッションの力を付けたいと思った
- ・特定の分野に絞らず、幅広く経済を学べるところが良かった
- ・まだやりたいことが決まっていなかったので、いろんなテーマに触れられる点が決め手になった

6.ゼミ生の卒業論文の例

・本ゼミは令和7年度に発足したばかりであるため、現時点では卒業生がおらず、卒業論文の実績はまだありません。

7. 自由記述

・齋藤ゼミは、落ち着いた雰囲気の中でしっかりと学べる一方で、必要以上に堅苦しさを感じることはなく、程よい距離感で授業に取り組める点が魅力です。プレゼンやディスカッションが中心と聞くと難しそうに思えるかもしれませんが、最初から完璧にできる必要はなく、周りのサポートもあるため徐々に慣れていくことができます。実際に回数を重ねる中で、自分の考えを整理して伝える力が少しずつ身についていくのを実感できます。また、日経新聞やデータを扱うことで、普段何気なく見ているニュースの理解が深まり、「表面的に知っている」状態から「背景まで説明できる」状態へと変化していきます。こうした積み重ねは、就職活動やその先の社会に出たときにも役立つ力につながります。経済を一つの分野に限定せず、幅広く、かつリアルな視点で学びたい人にとっては、無理なく続けながら着実に成長できる環境だと思います。

櫻井ゼミ

◆研究テーマ：地域問題と地方財政

1. 櫻井ゼミの特徴

- ・櫻井ゼミは「真面目に楽しく」をモットーに、グループワーク中心で活動しています。
- ・ゼミ生と協力し、教え合いながら取り組むことができます。
- ・ゼミ生は一人一人が主体性を持って行動しています。

2. 櫻井先生について

- ・櫻井先生はゼミ生に真摯に向き合ってください方です。
- ・ゼミ生が新たな気づきを得られるように様々な視点からご教示いただけます。
- ・ユーモラスな面も持ち合わせており、ゼミはいつも明るい雰囲気です。

3. ゼミの志望動機

【将来の展望が決まっていた人】

- ・地方財政について学び、財政面から地元を活性化させる方法を知りたかったから。
- ・地域問題について研究したいと考えたから。（旅行業界志望）
- ・学習内容がどのような部署に配属されても役立つと考えたから。（地方公務員志望）

【そうでない人】

- ・大きく成長できそうな雰囲気に惹かれたから。櫻井先生の授業が面白かったから。
- ・地域問題に興味があったから。論理的に話す力をつけたかったから。
- ・グループワークを中心とするゼミであるから。
- ・真面目に楽しくというテーマに惹かれた。

3. ゼミに入って感じたこと

【このゼミに入って良かった点】

- ・論理的に物事を考えられるようになる。
- ・グループワークで協調性を養うことができる。
- ・先生からの的確なアドバイスがいただける。
- ・一人ではなく仲間と協力して取り組むことができる。
- ・先輩方から優しく的確な指導をしていただける。
- ・発表やグループワークの機会が多いので自分の意見を発表する練習になるのは勿論、的確なアドバイスも貰えるので自分の知見が広がりやすい。

【成長できた点】

- ・データと事象を紐づける力がついた。
- ・常にメモを取り、自分が言いたいことを整理して言語化できるようになった。
- ・発表準備を通して、端的にまとめる力がついた。
- ・一人ではなく仲間と協力して取り組むことができる。

4. 年間スケジュール

1. 演習 I (2年後期)

- ・地域問題と地方財政に関する基礎学習：『里山資本主義』を輪読します。 (全員)

・地方財政分析：自身の興味のある市町村の財政分析をして発表をします。 (個人)

2. 演習ⅡA・B (3年生)

・グループ論文：学内外のゼミ討論会への準備として、ゼミ生でグループを作り、論文を作成します。 (グループ)

・就職活動の準備：グループディスカッションの練習や、エントリーシートの作成・添削などを行います。 (全員)

3. 演習ⅢA・B (4年生)

・卒業論文の執筆 (個人)

・就職活動に関する情報交換 (全員)

※夏休み,春休みにはそれぞれ「夏会」「春会」があります。(2日間程度)

5. 年間予算

- ・輪読本：1000 円以内
- ・合宿費：未定 (合宿は4年生のみ)
- ・懇親会費：3000 円程度

6. 歴代の卒業論文のテーマ例

- ・日本におけるスポーツビジネスのあり方
- ・少子高齢化社会における日本の年金制度の持続可能性
- ・高齢者を介護するヤングケアラー問題と当事者のニーズに対応した公的支援のあり方
- ・家庭環境や居住地域に左右される小学生の教育格差の是正を目指して など

7. 自由記述

- ・櫻井ゼミは**真面目に楽しく**学ぶことができるゼミです。
- ・興味を持った方はぜひ5/11(月)、5/20(水)開催のゼミ個別ブースやオープンゼミに参加してみてください。



杉山ゼミ

◆研究テーマ：日本経済史・経営史・企業家史

1. 杉山ゼミについて

・学び方

- 2年生後期▶教科書を中心に毎週グループプレゼンテーション
- 3年生前期▶合同ゼミに向けたグループワーク
- 3年生後期▶合同ゼミ発表
- 4年生前期▶卒論準備・就活共有
- 4年生後期▶卒論作成

グループワークが基本
毎週グループプレゼンテーション

・おすすめポイント

毎週、和気藹々とグループワークが行われる
プレゼンテーションに慣れる

・杉山ゼミに入って良かったこと

友達が増える
他大学との交流がある

・普段の活動風景の写真



2. 先生について

- ・名前：杉山里枝（スギヤマ リエ）
- ・研究分野：日本経済史・経営史・企業家史
- ・性格：明るい、笑顔が素敵、人と話すのが好き

3. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）

- ・教科書の章ごとに毎週グループプレゼンテーション
- ・経済史の基礎知識固め

2. 演習ⅡA・B（3年生）

- ・演習Ⅰの残りの章のグループプレゼンテーション
- ・合同ゼミ準備

- ・合同ゼミ発表
- ・ゼミ成果発表会

3. 演習ⅢA・B（4年生）

- ・卒論作成
- ・就活状況共有

4.年間予算

- ・教科書代：¥3,000-
- ・ゼミ後の食事代：月 ¥5,000-（自由参加）

5.ゼミ生の志望動機

「将来の目標が明確であった人」

- ・高校生の時に、杉山先生の論文を読み感銘を受けた

「将来の目標が明確でなかった人」

- ・雰囲気良さそう

6.ゼミ生の卒業論文の例

- ・都市商業空間における自然要素の空間戦略
—新設商業施設に見る導入傾向と経済的意図の分析—

鈴木ゼミ

◆研究テーマ： 人的資源管理論

経営学で扱う経営資源としての「ヒト、モノ、カネ、情報」のうち「ヒト」に注目した研究分野である「人的資源管理論」を扱います。

どのような人材を採用すればいいのか、人材育成やチームの構成はどのように進めると効果的なのか、給与やキャリアを決定する人事評価はどのように設計するのか、などのテーマを扱います。

1. 鈴木ゼミについて

- ・経営学科の生徒のみのゼミなので履修の相談がしやすいです。
- ・「統計入門」の履修が必須です。
- ・「人的資源管理」、「ビジネスリサーチ」の履修が推奨されています。
- ・基本的には生徒が主体になって授業を進めます。
- ・グループワークを中心に自らの学びを深めていきます。
- ・自分で学びに行く姿勢が必要になるので積極性と日常の中で学びを得る視点を持つことが出来ます。
- ・去年度から開講されたゼミなのでまだまだ情報もゼミ生も少ないですがおすすめです！



ゼミの様子

2. 先生について

- ・鈴木 智之先生
専門分野：人的資源管理、組織行動論、産業・組織心理学
担当教科：統計入門、ビジネスリサーチ、人的資源管理
- ・様々な企業のキャリアアドバイザーや就職試験の作成をしており就職活動についての知識が豊富です。就職活動の相談にはピッタリ！

3. 年間スケジュール

1) 演習 I (2 年後期)

- ・グループワークを中心に企業研究、発表
- ・卒業論文(4000 字)

半年間 4 人のグループで中心に進めていきます。

業界の選択肢与えられ、その中で好きな企業を選んで研究していきます。

研究を通して「企業の成功の仕方」を見つけていきます。

また、企業研究の後には卒業論文の発表をします。

2) 演習 II A・B (3 年生)

- ・輪読
- ・卒業論文

学生が主体に教材を用いて輪読を行なっていきます。

輪読の形態は主導する生徒によって異なります。

2 年後期と同様に卒業論文の発表をしていきます。

3) 演習 III A・B (4 年生)

- ・まだ 4 年生がいないのでわかりませんが、おおまかの予定としては前期に輪読、後期には卒業論文の発表となっています。

4. 年間予算

- ・2 年次 『選抜検査史：まだみぬ組織行動へ』 2025 年, 中央経済社, (2,860 円)
- ・3 年次 『もうけの仕組み：ビジネスモデル大図鑑 404 社を徹底検証!』 2025 年, 会社四季報業界地図編集部, (1,800 円)
『就職選抜論：人材を選ぶ・彩る科学の最前線』 2022 年, 中央経済社, (2,500 円)
- ・4 年次 『ワークプレイス・パーソナリティ論：人的資源管理の新視覚と実証』 2023 年, 大学出版会, (3,850 円)

5. ゼミ生の志望動機

「将来の目標が明確であった人」

- ・チームを率いていくためのスキルを身に付けたい
- ・人材育成の注目が強まっているので実績のある先生のもとで学びたい

「将来の目標が明確でなかった人」

- ・人材ビジネスについて興味があった
- ・就職活動についてもっと深く知りたい

6. ゼミ生の卒業論文の例

- ・『教育者と学習者の適性について』

- ・『人事における評価制度と配置制度の整合性は若手社員の能力発揮と成長にどのような影響を与えるのか』
- ・『働き方改革が企業パフォーマンスと従業員エンゲージに与える影響』
- ・『企業が公表している新卒向けの戦略は3年後の離職率に影響しているのか』

7. 自由記述

鈴木先生様々な業界の企業について、詳しくどのような学生がどの企業に適するのかといった視点も持っているので就職活動についての相談相手として心強いです。

また、ビジネスの手法についても明るいので「自身でビジネスを引っ張っていきたい！」という人にもおすすめです。

このゼミではビジネス社会レベルでの学習態度を求められます。このゼミの中で頑張っていればグループワーク、文章作成、出席、教員への連絡など一般社会で求められる高い水準を満たすと思います！

ゼミの経験から周りと差をつけましょう！

高木ゼミ

◆研究テーマ：日米マクロ経済データ比較

アメリカのデータを使用しているマクロ経済学理論のテキストに沿って、グラフのデータを最新に更新すると共に、日本の対応するデータをグラフ化しテキストの記述に基づく分析を適用し、どこまで実際の状況を説明できるか確認する。

1. 高木ゼミについて

・学び方

Zoom を介して共有される画面を各学生がパソコンに表示し、参考にしながら学習を進める。個人主義、各々パソコンに向かい授業内容を理解していくスタイル。

・おすすめポイント

他人に気を使わない、課題や合宿、飲み会も基本的に行わないため、ほとんどなくプライベートを充実させることが出来る。

・高木ゼミに入って良かったこと

パソコンをスキルを上げながら、経済に関して考え、学ぶことが出来る。

・普段の活動風景の写真



2. 先生について

・基本情報（名前・専門分野・担当授業など）

所属→経済学部 経済学科 研究分野→マクロ経済学理論、計量経済

・性格

ほぼゼミ生に干渉はないが、質問などは丁寧に対応して下さります

3. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）

- ・データを使った分析を行うい、基本的な操作や考え方を学ぶ
- ・テキストの内容を報告・テキスト内の図表を理論的な説明に沿って数式化し、Excel を用いたグラフや表で再現する・テキストで学んだ経済理論を実際に使い、章末問題を解く

2. 演習Ⅱ A・B（3年生）

- ・2年の延長。少し応用的な学習に変化
- ・各種データの入手方法を利用方法の確認・マクロ経済学の教科書の内容を最新の日米データを用いて再現したグラフと比較し、教科書の理論がどこまで当てはまるか確認する

3. 演習Ⅲ A・B (4年生)

- ・各自3年次に行ったグラフ分析を元に、卒論の対象とする分野を絞り込む
- ・対象分野のグラフ分析からモデル分析や分析範囲を拡大して3年次の分析の深化、拡大を図る
- ・卒業論文の作成

4.年間予算

- ・教科書代
2年次約3000円、3年次約6000円（3000円×2）

5.ゼミ生の志望動機

- ・経済について深く学びたい
- ・先輩からの勧め
- ・個人ワークでいいところ

6.ゼミ生の卒業論文の例

- ・『消費関数理論の検証』『現代経済に対する基礎的理論の通用可否』など、教科書のトピックを掘り下げるものが多い

7. 自由記述

Excelについての知識を身に着けることが出来るため、将来何がしたいのか決まってない、特に入りたいゼミがない方には高木ゼミをお勧めします。

雰囲気も落ち着いていて学びやすく、データ分析というどこにでも役立つ知識が身に着きます。

高橋ゼミ

◆研究テーマ：統計

私たちのゼミでは、統計について学び、様々な分析手法を用いてデータから情報を引き出します。日常生活の中に潜む数やデータに注目し、そこから得られるデータを収集・分析することで、身近な現象に新たな視点を加えることができます。

数学や数字が好きな人はもちろん、統計について今まで触れてこなかった人でも、講義を通して統計について1から理解を深めていけるため、楽しく統計について学んでいくことが出来ます。

1. 高橋ゼミについて

高橋ゼミでは、各学年に分かれて授業を行います。また授業では、グループに分かれて資料を作成し、発表する形です。

高橋ゼミのおすすめポイントとして、得意・不得意関係なく、ゼミ生全員で教え合うので、数学や数字が苦手な方でも気兼ねなく授業に参加できます。

2. 先生について

- ・ 名前 高橋 克秀 (タカハシ カツヒデ)
- ・ 専門分野 計量経済学(データ分析)、アジア・グローバル経済、文化経済学など
- ・ 担当授業 統計入門、経済経営数学入門、世界経済入門など
- ・ 趣味 世界遺産巡り(今年度は、春休み期間中にウズベキスタンに行かれていて、楽しそうな写真を送っていただきました)

高橋先生は、一人一人との対話を大切にしており、ゼミ生全員が自分の意見を発表する機会があります。自ら考えて、話す力が身に付きます。

3. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ (2年後期)

- ・ 統計学の基本的知識を身に付ける(理論中心)
- ・ PowerPoint を使ってグループで教科書の内容を発表

2. 演習ⅡA・B (3年生)

- A・様々な統計分析の方法を身に付ける (PC 実習中心)
 - ・ PowerPoint を使ってグループで教科書の内容を発表
- B・卒業論文のテーマを探す
 - ・ 参考文献を読み始める

3. 演習ⅢA・B (4年生)

- A・本格的にデータを集め、計算を始める
- B・毎週の進捗状況をプレゼンする

4. 年間予算

- ・ 約1万円
(内訳) 教科書、問題集、検定受験料(統計検定)など

5.ゼミ生の志望動機

- ・数学が好きで、強みを生かせると考えたから
- ・統計学やデータ分析の講義が面白く、興味が湧いたから
- ・数学の基礎知識を身に付けたかったから

6.ゼミ生の卒業論文の例

- ・合計特殊出生率の決定要因
- ・オリンピックのメダル予想
- ・桜の開花日の決定要因
- ・空き家問題の統計分析
- ・為替レートの決定要因
- ・箱根駅伝勝利の方程式
- ・倒産確率の研究

7. 自由記述

- ・ゼミ履修期間を通して統計検定3級を取得する必要がある
 - * 3級の試験レベルは2年後期の講義で基本的に学ぶことができます

田原ゼミ

・研究テーマ：人口減少社会におけるまちづくり

日本の人口変動とその地域性、地域経済に関する研究調査を行う。

1. 田原ゼミについて

- ・3学年合同で活動しているので、他学年の人とも仲良くなりやすく、気軽に相談しやすいです。
- ・ブラザー・シスター制度やスーパーバイザー制度があり、先輩が後輩をしっかりとサポートしてくれるので、困ったことがあってもすぐに聞けます。
- ・プレゼンのときには田原先生から丁寧で的確なフィードバックをいただけるので、発表の力や卒論に向けた力を伸ばしていくことができます。
- ・地域での活動にも力を入れていて、毎年、地域住民の方や事業者、行政と連携しながら渋谷さくら祭の運営に関わり、地域活性化にも貢献しています。

2. 先生について

- ・氏名：田原 裕子（タハラ ユウコ）
- ・所属：経済学部 経済学科
- ・専門分野：地域社会問題／高齢社会と社会保障
- ・担当授業：地域の視点から経済を学ぶ授業を担当
- ・指導スタイル：丁寧で的確なフィードバック
- ・人柄：学生の意見を尊重し、主体性を大切にする
- ・特徴：レジュメ・発表への細やかな指導、実践的な学び（地域活動・フィールドワーク）・般社団法人渋谷駅前エリアマネジメントさまとの共同研究

3. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）

- ・「ゼミ成果発表会」
渋谷区公園課さまからの依頼を受けて実施した『渋谷区氷川の杜公園の課題と地域の人々が望む再整備後の姿について』についての調査と共同研究の一貫として実施した『渋谷リバーストリートがもっと使われる空間になるための課題と解決策について』の調査についてグループを分けてプレゼンを行いました。
- ・「新聞記事報告」
各々がゼミのテーマ（まちづくりや社会保障）に関連した新聞記事を読み、レジュメにまとめ発表することでそのテーマに関する見識を深めました。

2. 演習ⅡA・B（3年生）

- ・3年生は2年生に対し、フィールドワークを用いて、渋谷の現在と過去の移り変わりやまちづくりについて紹介しました。また、卒業論文に向けて研究するテーマの選定を行い、選定したテーマに関する論文や新聞記事、学術論文を用いて理解を深めます。

3. 演習ⅢA・B（4年生）

- ・4年次は卒論の執筆を最終的な目標として各自で調査計画を策定し、現地調査を実施します。完成後はOBOGの方々の前でプレゼンを行う「卒業論文発表会」を実施します。

4. 年間予算

飲み会 10000円（3回程度）

合宿 28,000（夏合宿）

OB・OG会 3000円

合計 41,000円 ※日安

5. ゼミ生の志望動機

- ・ブラザー・シスター制度があり、先輩からの助言を受けられる点に魅力を感じたため。
- ・3学年合同でゼミを行うので、他の学年とも関わることができるため。
- ・渋谷さくら祭の企画・運営など、地域連携活動に取り組んでみたいと感じたため。
- ・「まちづくり」というテーマに興味があり、学びを深めたいと感じたため。

6. ゼミ生の卒業論文の例

- ・「居心地のいい公共空間づくりにおける緑の取り組み ～渋谷区渋谷リバーフロントを例に～」
- ・「地域住民の属性別にみた河川への評価 ～神奈川県鎌倉市柏尾川水系砂押川を事例に～」

7. 自由記述



地域や社会と関わりながら学べる実践的なゼミです。
学年間のつながりも強く、学びと交流の両面で充実しています。
メリハリを持って、しっかり学びながら楽しく活動できる点が魅力です！

中馬ゼミ

◆研究テーマ：グローバル経済の中で深刻化する経済・社会格差（ジェンダーを中心に）

このゼミではグローバル経済と経済格差・社会格差の関係を、特にジェンダーの視点から学ぶ。文献研究やグループワークを通して格差や貧困の原因を考え、多様な考えを比較しながら、自分の視点で評価する力を身につける。

1. 中馬ゼミについて

中馬ゼミはグループワークが多く、和やかな雰囲気です。中馬先生はグループ発表やレポートを書く際に、わからない点や間違っている点をわかりやすく、親身になって教えてくれるので、とてもやりやすいです。中馬先生を中心にほのぼのとした雰囲気があり、なじみやすいと思います。

2. 先生について

中馬先生はすごく優しく、親しみやすい性格です。まるで、親戚のおばあちゃんかのような雰囲気まで感じます。ただ、メリハリのある先生なので、授業の話の時には真剣に取り組み、ゼミ生の発表を聞いているときや、雑談をしているときはとても明るく、優しい表情をした先生です。

3. こんな人におすすめ

- ・ジェンダーに関する問題、話題に興味がある人
- ・個人ワークよりもグループワークをしたい人
- ・コミュニケーション能力を鍛えたい人

4. 年間予算

特定の教科書の購入がなく、合宿もないため費用は掛かりません。

5. 年間スケジュール

・演習Ⅰ（2年後期）

1年次の基礎演習でおこなったアカデミックスキルのおさらいをし、一つの文献を購読します。レポートの書き方を学び、書評レポートを作成します。グループで文研報告の発表を行い、振り返りをします。

・演習Ⅱ（3年生）

卒業論文のテーマ（個人テーマ）の決定に向け、似た関心のある履修生たちとグループを作り、文研報告をします。文研報告を2回行い、学期末に書評レポートを行います。

・演習Ⅲ（4年生）

卒業論文の作成

6. 自由記述

中馬ゼミは開発経済だけでなく、女性労働論やジェンダーに関するさまざまな学問に触れていくゼミです。3年生からのコース選択も自由なので、他の授業も取りやすいゼミです。卒業論文のテーマも自由度が高いため自分の興味ある分野を研究することができます。

手塚ゼミ

◆研究テーマ：成長戦略研究

グループ討論を通して、経営戦略の理論を用いて企業を分析し、その企業の課題を明らかにしたうえで、企業がさらに成長するためにはどのような戦略やビジネスモデルが立案できるかを考えていきます。先生の実務経験も踏まえて、実社会に出てからも役立つ戦略分析力も養っていきます。

1. 手塚ゼミについて

- ・学び方 基本的に学年ごとの活動が中心
グループワークと個人ワーク両方
- ・おすすめポイント
ゼミ生と真面目に楽しみながらゼミ活動を行うことができる！！
数回の企業分析を通して企業の在り方を知ることができる。
- ・ゼミに入って良かったこと
企業分析を何度も行うので就職活動で就職したい企業の企業分析を行う際に有利になる！
今まで使っていたお店などの企業分析を行うため、違った視点で利用することができる！



2. 先生について

手塚 貞治（てづか さだはる）先生
研究分野：経営戦略論、事業計画論、中小企業経営論
担当科目：日本の中小企業、ビジネスソリューション
事業承継、現代ビジネス、演習
性格：温厚な性格でゼミ生に対して優しく話しかけてくれる
こちらの要望に対してある程度応えてくれる
趣味：車、お笑い、神社巡りなど

3. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）

輪読(ほぼ毎回)とミニ演習(3回程度)を通して経営戦略の基礎スキルを養成

輪読：学年全体で同じ入門書を読み、発表・討議するプロセスを通して知識を習得する。

ミニ演習：チームで企業を分析し発表するプロセスを通して、習得した知識を活用する。

※2024年度課題図書：綱倉・新宅(2011)『経営戦略入門』日本経済新聞出版社。

2. 演習ⅡA・B（3年生）

グループでの企業分析を通して企業の課題を明らかにし、ビジネスプランを作成

- 前期：フレームワークを用いて実企業の内部環境・外部環境を分析・発表し、企業課題を明らかにする。その後、企業の新たな方向性を検討して新規事業を考える。
- 後期：これまでに習得した経営戦略スキルを用いてグループでビジネスプランを作成・発表し、全員で討議する。最終的にはビジネスプランコンテストへの提出を目指す。

3. 演習ⅢA・B（4年生）

3年次までに培った経営戦略スキルを踏まえた卒業論文の作成

- 前期：個人でテーマを設定し、特定の企業や業界を分析する。
- 後期：前期の分析に基づき、企業や業界の課題や方向性を卒論論文としてまとめる。

4.年間予算

- ・教科書代：3700円程度（演習Ⅰで使用する輪読本の金額）
- ・懇親会代：3500円/回（各学年で実施される回数は異なる）

5.ゼミ生の志望動機

「将来の目標が明確であった人」

- ・「手塚先生のコンサルという職業に興味があったから。」

「将来の目標が明確でなかった人」

- ・「ゼミの雰囲気、グループワークや発表の量が自分に合っていると感じたから。」
- ・「実務的な視点を持つ先生から直接フィードバックを受けれる環境に魅力を感じたから。」

6.ゼミ生の卒業論文の例

- 「経済的混乱期における不動産デベロッパー企業の戦略展開」
- 「デファクト・スタンダードの視点から見る PayPay 株式会社の成功要因」
- 「クックパッドはなぜデファクトスタンダードでなくなってしまったのか」
- 「有価証券報告書に基づくドラッグストア9社の財務・戦略分析」
- 「同族企業の経営者交代における承継プロセスと成功要因」

7. 自由記述

どんな方でも参加しやすく親睦を深めやすいゼミなので公開ゼミや個別ブースに積極的に参加してみてください！！

〈個別ブース参加日〉

5月11日 13時～16時

5月20日 13時～16時

中田ゼミ

◆研究テーマ：企業分析・財務会計

中田ゼミでは、「企業分析」「財務会計」について学んでいきます。内容は、有価証券報告書・財務諸表を用いた多岐にわたる企業の分析や経営・会計分野の教科書発表、ビジネスコンテストに向けた取り組み等をメインに行っています。

1. 中田ゼミについて

- ・金曜4・5・6限（3・4年生は4・5限、2年生は5・6限）に活動しています。
- ・4年生26人、3年生24人の合計50人で活動しています。
- ・グループワークを中心に授業を展開していくので、ゼミ生同士みんな仲が良く、とても賑やかです！ですが、やるときはやる！といったメリハリのあるゼミです！
- ・2～3学年合同で活動しており、先生や先輩方から沢山アドバイスをもらいながら授業を進めていくので、ヨコのつながりだけでなく、タテのつながりも強固なものがあります！

- ・普段の活動風景の写真



2. 先生について

- ・中田有祐先生

担当分野：財務会計

今年度担当授業：基礎演習 AB、会計入門、応用財務会計、ビジネスゲームなど

- ・中田先生は、ゼミ生との距離が非常に近く、親身になって指導して下さる先生です！教科書発表や、プレゼンのフィードバックをいただく際も重要なポイントを的確に押さえ、分かりやすく説明して下さるため、内容の理解が深まります。また、人柄はとても親しみやすく、ゼミ生一人ひとりに丁寧に向き合ってくださいなのが印象的です。学業面だけでなく、進路や日常生活に関する相談にも気軽に応じてくださるなど、幅広い面で支えていただいています！常にゼミ生の様子をよく見ており、それぞれに合った関わり方をして下さる、信頼できる先生です！

3. 年間スケジュール

1) 演習 I (2年後期)

- ・ビジネスコンテスト参加

(昨年度は、りそなビジコンに参加、根岸ゼミ・宮下ゼミと合同で発表会も行った)

- ・企業分析（昨年度は、吉野ゼミと合同発表会を開催） ・経営戦略と会計の教科書の発表
- ・春休みに合宿

2) 演習ⅡA・B（3年生）

- ・産学チャレンジプログラムへの参加
- ・ビジネスコンテスト参加
- ・他大学との合同ゼミ
- ・経営分析（企業価値評価）
- ・学部のゼミ成果発表会への参加
- ・夏と春に合宿

3) 演習ⅢA・B（4年生）

- ・卒業論文
- ・ビジネスコンテスト参加
- ・夏と春に合宿（任意）

4.年間予算

- ・教科書代：2冊で4,000円程度
- ・合宿：1回2～3万円程度（昨年度春は日光へ！宿・飲食代合わせて1万円。交通費は各自）

5.ゼミ生の志望動機

〈展望が決まっていた人〉

- ・財務会計を学べるゼミに入りたかったから。
- ・人と話すのが好きでグループワークが多いゼミだったから。
- ・K-PLUSで簿記を受講していて、会計を学びたかったから。
- ・金融業界に就職したいため、会計系を学びたかった。

〈展望が決まっていない人〉

- ・ゼミ生同士の雰囲気がよさそうだったから。
- ・先輩やOBと関わる機会が多かったから。
- ・企業分析の仕方を学ぶことで就職に活かせると思ったから。

6.ゼミ生の卒業論文の例

- ・富士ゼロックスの不正会計～会計上の問題点とコーポレートガバナンスの問題点の分析～
- ・日本における退職給付会計のゆくえん—過去の改正によるIFRSとのコンバージェンスと現行基準の相違による財務諸表への影響—
- ・サウスウエスト航空の競争優位性と米LCC業界での今後の展開分析
- ・日本の資産形成促進への取り組みと今後の施策
- ・楽天グループの企業分析—M&Aと事業展開の評価—

7. 自由記述

ゼミの研究分野に興味がある人はもちろん、グループワークで沢山仲間と成長していきたいという人達にはおすすめのゼミです！少しでも興味があれば、ゼミ個別ブースやゼミ見学に足を運びにきてください！ゼミ生・先生一同、お待ちしております！

根岸ゼミ

◆研究テーマ：現代における経済社会の問題

根岸ゼミでは、「現代における経済社会の問題」について学んでいます。根岸先生の専門は財政学で財政学とは、税金や社会保障、公共サービスなどを通じて社会をどう良くしていくかを考える分野です。私たちの扱うテーマは幅広く、現在起きている経済問題の多くが研究対象になります。

1. 根岸ゼミについて

- ・ヨコのつながりだけでなくタテのつながりも大切にしています。
- ・ビジネスコンテストに向けたグループワークが中心です。
- ・授業外でも集まる機会が多いため、仲が良いです。



2. 先生について

- ・國學院大學経済学部学部長 根岸毅宏先生 専門は財政学で日本の経済や財政の基礎を担当されています。
- ・ゼミ生に真摯に対応してくださり、学びに対し全力で向き合ってください。ゼミ活動では、ただ質問に答えるだけでなく、自分たちで考えるように指導していただきます。

3. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）

- ・ゼミとしてのチームビルディング
- ・書籍の輪読
- ・外部ビジネスコンテストへの参加

2. 演習ⅡA・B（3年生）

- ・外部コンテストに参加
- ・グループ論文の作成
- ・卒業論文のテーマ決め

3. 演習ⅢA・B（4年生）

- ・夏休みまでに卒業論文の全体を完成
- ・ゼミ生間で卒論のブラッシュアップ

週に一回先輩後輩で交流しあう機会があります。先輩がメンター役をこなしてくれるのでゼミでの悩みや大学生活での悩みも相談できます。

4.年間予算

- ・宿代 3万円 *今年の夏合宿は中止 ・教材代 3千円

5.ゼミ生の志望動機

「将来の目標が明確であった人」

- ・根岸先生の専門が財政学なので財政学を学び、将来税理士になりたいと考えている。

「将来の目標が明確でなかった人」

- ・ゼミの活動で外部のコンテストに参加するのでそこで賞を取り、就活のガクチカにしたい学生や現代の日本社会の課題を深掘りして解決するために必要なことを学びたいと思っている学生。

6.ゼミ生の卒業論文の例

- 今後の日本でより長く健康で豊かに過ごすには
- 持続可能な地方中核都市の形成を目指して
- 日本における同調現象の理解「空気を読む日本人」は集団主義か
- Maas は日本の公共交通機関が抱える問題を解決できるのか
- 農業協同組合の役割の変化と今後の可能性 農作物の流通を軸にして

7. 自由記述

- 根岸ゼミはゼミでの学びを通して充実感を味わいたい人、社会に出てからも通用するような力、経験を得たい人にオススメです！
- 興味が少しでも湧いたら是非、ゼミ個別ブース相談会やゼミ見学に足を運んでみてください

根岸ゼミ一同皆さんをお待ちしています！！

芳賀ゼミ

◆研究テーマ：消費者の視点から学ぶマーケティング問題

芳賀ゼミでは「消費者視点」でのマーケティング問題について学んでいきます。消費者がなぜ買うのか、いつ買うのか、何を買うのか、どのように買うのかについて「消費者行動論」といった心理学と関連の深い分野を中心に研究を深めていきます。

1. 芳賀ゼミについて

- ・現在4年生20人、3年生18人で学年ごとに活動しています。
- ・グループワークを中心に、ゼミ生同士が積極的に交流しながら活動しています。
- ・グループごとに研究を進める上で、テーマを自由に決めることができます。
- ・先生が基礎演習のように各グループをまわり、ワークが行き詰まっているようだったらアドバイスをくれるため、コミュニケーションが取ることができます。

2. 先生について

- ・先生は真面目で優しく、連絡事項や授業の指導を手厚く行ってくださるようなゼミ生思いの先生です。
- ・常に落ち着いていて、悩みを親身になって聞いてくれます。
- ・ゼミ生と適度な距離感で接してくれて、わからないことや困ったことがあった時にはとても聞きやすい雰囲気があります。

3. 年間スケジュール

- 1. 演習Ⅰ（2年後期）：基礎としてのマーケティングリサーチ実習**
 - ・マーケティングないし消費者行動の実務および学術でよく利用するマーケティングリサーチ（具体的には、回帰分析、分散分析、因子分析、クラスター分析）の実習を行います。
 - グループごとにテーマを決め、それぞれ調査・分析をしてプレゼンをします。
- 2. 演習ⅡA・B（3年生）：応用としてのグループ研究(学術)/産学連携(実務)**
 - ・消費者の視点からマーケティング問題の発展についてグループ研究を通して考えます。
 - [前期]グループごとにテーマを決め、それに合わせた研究を半期にわたって行います。
 - [後期]産学連携(企業とのコラボ)による商品開発や共同研究にも取り組みます。
- 3. 演習ⅢA・B（4年生）：集大成としての卒業論文**
 - ・消費者行動領域において自らの興味・関心のあるテーマのもと、マーケティングリサーチに基づく卒業論文の執筆に取り組みます。
- 4. 実施している行事：ゼミ合宿、OBOG会、産学連携、懇親会**

4.年間予算

- ・2,3年合同ゼミ合宿：場所や内容によって変動（昨年度は2万円程度）
 - ・懇親会：1回あたり3000円程度
- 教科書等の購入はありません

5.ゼミ生の志望動機

- ・消費者行動に関心があり、ゼミでの学習が卒論で研究したい内容と一致と思ったから。
- ・新しいアイデアを生み出すより、分析して消費者心理を理解することに興味があったから。
- ・個別ブースや公開ゼミでの様子を見たときに雰囲気が良いと感じ、グループ研究に真剣に取り組むことができると思ったから。

6.ゼミ生の卒業論文の例

芳賀ゼミはマーケティング（特に消費者行動）に即した内容であれば自由にテーマを決めることができます。詳細はHP(<https://hhaga8.wixsite.com/haga-seminar>)をご確認ください。



7. 自由記述

消費者行動に興味がある方！

知的な好奇心・行動力がある方！

ゼミ生一同、お待ちしております！

濱田ゼミ

◆研究テーマ：ゲーム理論と行動経済学の応用

ゲーム理論や行動経済学を用いて、独自の理論分析および実験（アンケート調査）を行い、統計分析を行います。分析テーマはゼミ生自身が設定し、主体的に研究に取り組みます。

1. 濱田ゼミについて

濱田ゼミは、やるときはしっかりやり、楽しむときは全力で楽しむメリハリのあるゼミです。

グループワークを中心に知識を深めていきます。ゼミ生は真面目な人が多く、議論の質が高いのが特徴です。また、先生の話が面白く、授業は毎回楽しく受けることができます。さらに、ゼミ生同士の仲が良く、全体的に雰囲気がとても良いのも魅力の一つです。加えて、学ぶ内容は身近な場面にも応用できるため、実感を持って面白さを感じることができます。

ゲーム理論や行動経済学に興味がある人に特におすすめです。



2. 先生について

濱田 高彰 先生

研究分野：ゲーム理論と行動経済学の応用分野

人柄・指導スタイル

- 学生に寄り添い、同じ目線でコミュニケーションを取ってくれる
- 基礎から丁寧に説明してくれるため、段階的に理解しやすい
- 課題には一人ひとり丁寧なフィードバックがある

また、必要以上に口出しせず、学生の主体性を尊重してくれるのも特徴です。

3. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）

- ・行動経済学を用いたグループ研究（経済実験のデザイン作成、調査の実施、統計分析など）

2. 演習ⅡA・B（3年生）

- ・ゲーム理論を用いたグループ研究（ゲームモデルの作成、均衡分析など）

3. 演習ⅢA・B（4年生）

- ・卒業論文の執筆に向けた準備と研究
（論文の執筆は個人ですが、グループで協力しながら論文の執筆を進められます）

4. 年間予算

2年次：約 3,000 円（教科書代）

3年次：約 3,000 円（教科書代）

合宿：3万円以内（学年ごと任意）

5.ゼミ生の志望動機

行動経済学やゲーム理論に興味を持ったから
身近な社会に応用できる点に魅力を感じた
新しい分野に挑戦し、自分の可能性を広げたかった
濱田先生の授業が面白く、自分に合っていると感じた
グループワーク中心の授業に魅力を感じた
公開ゼミや先輩方の雰囲気が良かったから

6.ゼミ生の卒業論文の例

- チーム戦オンラインゲームをする人は自己帰属バイアスを持つ人が多いのか
- 環境ラベルは消費者の購買意思決定に影響を与えるのか
- 人の期間限定・数量限定が人の購買行動に与える影響
- オンラインコミュニケーションにおける返信速度の分析

7. 自由記述

和気あいあいとした雰囲気の中で、楽しくグループワークに取り組める一方、決して楽なゼミではなく、研究や課題には真剣に向き合う必要があります。ゼミ生一人ひとりが主体的に考え、意見を出し合いながら進めることで、着実に力を伸ばすことができます。

また、授業外では先輩を含めた交流の機会もあり、学年を超えたつながりも魅力です。濱田ゼミは、楽しさと成長の両方を実感できる環境であり、自分たち次第でさらに良いゼミにしていけることができます。

「ゲーム理論」や「行動経済学」に興味がある人、グループワークを通して社会人基礎力を身につけたい人、少しでも濱田ゼミに興味を持っている方は、ぜひ一度話を聞きに来てください。

5月11日・5月20日のゼミ個別ブース相談会や火曜の公開ゼミでお待ちしています！

林ゼミ

◆研究テーマ：医療経済学：医療から日本の経済を考える

人口減少と高齢化が進む日本社会において医療問題は重要な社会問題の一つであると同時に、医療に関わるビジネスは日本に残された数少ない成長産業の一つです。林ゼミでは、この医療を経済的な分析を通して理解を深め、これからの日本の医療に留まらず、現代日本社会の在り方について検討していきます。

1. 林ゼミについて

医療経済学の教科書の輪読を行います。担当者がスライドを作成しプレゼン形式で発表します。発表後は林先生の補足や質問で理解を深めていきます。医療知識がなくても、基礎から丁寧に進めていくため、初めてでも安心して学べます。

2. 先生について



・氏名：林 行成（はやし ゆきなり）

- ・出身：鹿児島県
- ・モットー：
「凡事徹底」「すぐに役に立つものは、すぐに役に立たなくなる」
「God is in details. 神は細部に宿る」
- ・担当授業：医療経済学、産業組織論、経済理論入門ほか

3. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）

- ・医療経済学の基礎を身に着けることを目的に、入門書の輪読を行います。

2. 演習ⅡA・B（3年生）

- ・医療経済学の本を輪読し、医療を経済学的に検討していきます。
- ・就活準備のため、業界研究、ES作成、林ゼミOB/OGによるキャリア説明会などを行います。

3. 演習ⅢA・B（4年生）

- ・卒業論文の執筆
- ・就職活動への支援・指導

4) その他

- ・病院見学
- ・他大学との合同研究発表会

4.年間予算

約 10,000 円

- ・林「知っておきたい医療リテラシー：日本の医療の効率と公平を問う」日本評論社 1800 円
- ・細谷・増原・林「医療経済学 15 講」新世社 2400 円
- ・その他、病院見学会等への参加のための交通費

5.ゼミ生の志望動機

「将来の目標が明確であった人」

- ・医療制度や医薬品産業に興味があった。

「将来の目標が明確でなかった人」

- ・日本における医療産業の成長性に関心があった。
- ・社会保障制度について理解を深めたかったから。

6.ゼミ生の卒業論文の例

ゼミは 2024 年度に開始されました

卒業論文テーマ例（前任校）

- ・医療費の効率化政策、診療報酬と病院経営、薬価基準制度と医薬品産業、医療人材派遣ビジネス、医療の働き方改革、医療機器産業、臓器移植、などの研究

※主に医療分野に関する研究が多いですが、皆さんの興味に応じて自由に研究してもらって構いません。

7. 自由記述

林先生は博識で温かい人柄の持ち主で、いつも興味深く面白いお話をしてくれます。きっと授業やゼミを通して多くの学びが得られるはずです。林ゼミは医療に関心のある人はもちろん、社会制度や経済政策に興味のある人にもおすすめです。ぜひ一度、足を運んでみてください。

藤山ゼミ

◆研究テーマ：経営学

広義の「経営学」は4つの分野に分類されます。会計、金融、マーケティング、そして経営戦略論や経営組織論等を含む狭義の「経営学」です。藤山ゼミでは、狭義の「経営学」について、研究や輪読を通して学ぶことができます。

1. 藤山ゼミについて

- ・ひと言でいうと
根暗陰キャ救済ゼミ
- ・ゼミ生について思うこと
真面目なゼミ生が多く、ゼミに意欲的に取り組んでいます。
- ・先生について思うこと
分からないことをそのままにせず、納得できるまで説明してくれる、面倒見の良い先生です。

2. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）

- ・個人ワーク：輪読（要約・レポート作成）、個人研究

2. 演習ⅡA・B（3年生）

- ・個人ワーク：輪読（要約・レポート作成）、個人研究
- ・グループワーク：ビジコンに出場（※2025年度。26年度以降は未定）

3. 演習ⅢA・B（4年生）

- ・前期：輪読、
- ・後期：卒論

藤山ゼミでは金曜の5限6限を使って演習を行います。

- ・5限の活動(輪読)
- ・経営学は社会学、経済学、心理学を元に生まれた学問であることから、社会学、経済学、心理学のいずれかの分野の本を読みます。
- ・授業日までに、個人ワークとして、要約を行って疑問に思ったことを洗い出しておくことと、本の内容から考察できることを書きだしておきます。
- ・授業では、疑問点を先生に解説してもらうことと、考察についての意見交換を行います。
- ・6限の活動(事例分析、ゼミ成果発表会)
- ・授業日までに個人研究を各自進めておきます。
- ・授業では、研究発表を行い、ゼミ生や先生から意見をもらって次週までに何をすべきか明確にします。

サマーセッション（ゼミ合宿）

- ・2年生と3年生の夏休みにあります。
- ・ディプロマシーというゲームを行います。

スプリングセッション(事例分析の続き)

- ・2年生の春休みにあります。
- ・個人研究の事例分析を進めます。
- ・私の時は、隔週で4人ずつが発表しました。

3.年間予算

- ・輪読で使用する本（半期約 5000 円）
- ・夏のゼミ合宿（約 30000 円）
- ・懇親会（1 回約 3000 円）※実施できた場合
- ・その他各自の研究で別途資料代がかかります。

4.ゼミ生の志望動機

- ・経営戦略論について学びたい
- ・経営組織論について学びたい
- ・企業研究を就活に役立てたい

5.ゼミ生の卒業論文の例

- ・夏フェス市場の成長要因
- ・Panasonic が半導体事業を売却した理由
- ・SUBARU の経営戦略再考
- ・イノベーションのジレンマから見る SHEIN
- ・ライフネット生命のビジネスモデル
- ・対面接客とバーチャル接客における顧客満足の比較研究

6. 自由記述

ゼミを選ぶ上で自分の興味分野に合致したゼミに入るのが望しいですが、実際は先生との相性がゼミとの相性を大きく左右しているように私は思います。

そこで、藤山先生のビッグファイブを無断で勝手に私が公開しようと思います笑。ビッグファイブとは、早い話、学術的に正しいとされている性格診断です。狭義の経営学の一分野である、経営組織の授業のパーソナリティの回で学びます。外向性、神経症傾向、協調性、勤勉性、好奇心の5項目で評価します。藤山先生は外向性と協調性が皆無で、神経症傾向が低く、勤勉性、好奇心がMAXです。藤山先生としては、勤勉性と好奇心がある人が欲しいようで、外向性と協調性はあった方が良いが、なくても良いそうです

星野ゼミ

◆研究テーマ：経営戦略や事業創造を中心とした経営学

1.ゼミ生から見たゼミの特徴

- ・ゼミは学年別を実施。
- ・経営学を全般的に学ぶことができる。
- ・ゼミ中の雰囲気は堅苦しくなく、メリハリがあって居心地が良い。
- ・学生に優しく、発言がしやすい雰囲気を作ってくれる。
- ・ゼミの色は各代のゼミ生次第！
- ・輪読の真面目な雰囲気とグループワークの和気あいあいとした雰囲気の両面を持ち合わせたゼミ！

など

2.先生について

- ・星野広和 教授 - 経済学部経営学科
- ・研究分野 - 経営管理論・経営組織論・経営戦略論
- ・担当授業 - 経営入門・経営学史・経営管理
- ・指導スタイル - 干渉し過ぎない指導スタイル

3.ゼミ生の志望動機

- ・将来的にどのような職に就きたいか、明確に決まっていなかったので経営学について幅広く学ぶことができる星野ゼミを選んだ。
- ・神奈川産学チャレンジがあると聞き、プロジェクトの作成能力やプレゼン力を磨きたいと思ったから。
- ・輪読とプレゼン、グループワークをバランス良く経験できる星野ゼミを選んだ。

など

4.年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）

- ・輪読「小倉昌男 経営学」

2. 演習ⅡA・B（3年生）

- ・輪読「入山章栄 世界標準の経営理論」
- ・産学チャレンジプログラム in 神奈川
- ・ゼミ成果発表会

四月～七月 輪読、グループワーク

八月～十一月 学外ビジネスコンペ

十二月 ゼミ成果発表会

一月～三月 就活、卒論について

3. 演習ⅢA・B（4年生）

- ・卒論作成、発表

5.年間予算

- ・教材費：約 3,000 円/年
- ・懇親会費：約 3,000 円/回 ※回数は各学年のゼミ生次第
- ・計：年間 12,000~15,000 円程度

6.ゼミ生の卒業論文の例

- ・アパレル業界における SDGs の取り組みに関する一考察
- ・エシカル消費が購買意欲に与える影響に関する一考察
- ・QR コードの汎用性に関する一考察－FeliCa との比較を通じて－
- ・シェアド・リーダーシップの有効性と課題に関する一考察
- ・企業による交通事故低減に向けた取り組みの有効性と課題に関する一考察

など

7. その他

- ・先生は干渉し過ぎず生徒主体なので雰囲気は各学年によって全く違います(先生は賑やかな方が好きみたい…)
- ・ぜひゼミブースや公開ゼミで雰囲気を感じてみてください！公開ゼミは事前予約必須です。
- ・基礎知識はあった方がゼミで豊かな学びができると思います。

細井ゼミ

◆研究テーマ：国際経済、国際経営

細井ゼミでは国際経済・国際マーケティングについて詳しく学びます。具体的には国際的な商取引、グローバル経済内の多国籍企業(TNC)・国家の動向などを学びますが、これらのことについて知識や考えを深めると何気ない海外のニュースも鮮明に理解することができ、大変ながらも面白い分野です。

1. 細井ゼミについて

- ・教科書や日本経済新聞などを読み、先生を交えてゼミ生同士で考えを深めていきます。
- ・個人で興味のある分野や研究テーマについて学び、ゼミ生同士で質問し合い学び合う形式です。
- ・個人で学んでいるものの、ゼミ生同士がとても仲が良く互いに学び合いながらアットホームに学べるゼミです！

2. 先生について

細井先生といえば「厳しい」「怖い」というイメージがあるかもしれませんが、ゼミ生からは真逆のイメージです。先生はストイックな面があり、ゼミの活動に真剣に取り組んでいます。でも、質問には親身に答えてくれたり、フォローをしてくれたり、雑談にも楽しく付き合ってくれたりする優しい先生です！



(ゼミ中の様子)
中のゼミ生)

(海外研修企業訪問の様子)

(インド観光)

3. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ (2年後期)

英語の教科書を使い、国際経済や国際経営についての基礎知識を身につけます。英語と聞くと難しく感じるかもしれませんが、個人の能力に考慮した本なので、最初は抵抗があっても次第に慣れます。3年生以降で、テーマによっては英語の文献を扱う事もあるので、その練習と先生は言っています。また、週の担当者が日本経済新聞から気になる記事をピックアップしてゼミ内でそれを紹介し、国際情勢に関心を広げています。

2. 演習ⅡA・B (3年生)

それぞれ興味のあるテーマを設定して、それについて個人ベースでより深く学んでいきます。現在のゼミ生のテーマとしては「インドの経済」「資源の呪い」「異文化マネジメント」「国際人的資源管理」「中所得国の罠」「ワーキングプア」「開発経済」などがあります。夏の海外合宿に向けて、事前勉強も行います。

3. 演習ⅢA・B (4年生)

- ・3年生の内容に加えて、各自の研究テーマに沿った卒業論文を完成させます。

- ・毎年、春には国内で交流合宿、3年と4年は海外で夏合宿を行います。夏合宿では企業に訪問して工場など現地の活動を見学させていただきます。2025年はインドに行きました。2026年はタイに行く予定です。
- ・OBOG会を毎年開催し、就職や今後に役立つ貴重なお話を伺うことができます。

4.年間予算

- ・実費はテキスト代（個人により異なります）、月数回の飲み会、春と夏の合宿代ですが、年度によってばらつきがあります。

5.ゼミ生の志望動機

- ・国際経済、国際経営に興味がある
- ・海外が好き、海外に行きたい
- ・少人数で学びたい
- ・先生やゼミ生と仲良くなりたい
- ・OBOGの先輩方とも関わりを持ちたい

6.ゼミ生の卒業論文の例

- ・途上国の過剰人口の正体：出生率抑制の検証と展望
- ・ラテンアメリカ経済と中所得国の罠：「東アジアの奇跡」から学ぶ経済発展
- ・CSRにおけるマーケティング的視点の必要性：経済的価値をもたらすCSRとは
- ・日本の観光産業と欧州観光客誘致：インバウンド・ツーリズム・マーケティングの観点から

7. 自由記述

- ・「2年半のゼミ活動を学びのある有意義な時間にしたい」「国際経済、国際経営に関する勉強をしたい」という意欲のある方にはぜひおすすめゼミとなっています！
- ・夏合宿で企業訪問を行ったことは、就職活動のガクチカで役立つことを実感しています。
- ・気になる方は是非ゼミ見学や個別相談ブースに遊びに来てください！お待ちしております！

水無田ゼミ

◆研究テーマ：社会科学（ジェンダー論、社会文化論中心）

このゼミではジェンダーやダイバーシティを中心とした社会科学の研究を行っています。また消費行動論や異文化、広告論等についての内容を扱うため、幅広い知識を身につけることができます。

1.水無田ゼミについて

・各学年ごとに授業を行っている。基本的に個人作業が中心になるが、グループワークも取り入れている。

—おすすめポイント—

- ・自分の考えをしっかりと持っている人が多い！
- ・落ち着いている人が多く、授業や課題に真面目に取り組める人が多い！
- ・いつも明るくクラスの雰囲気をよくしてくれる人が多い！

—水無田ゼミに入って良かったこと—

- ・社会の幅広いテーマや問題を扱うため様々な知見が付き、世の中の立つことが多く学べる。
- ・ダイバーシティやジェンダーに関する知識を専門的に学ぶことが出来るためどのようなしたら多種多様な人々が出来るかを学ぶことが出来る。
- ・広告や映画の視点からも授業を展開するため、卒論テーマを自由に書くことが出来る。
- ・社会科学を専門とする先生のもとで正しい知見を知ることが出来るため社会全体を様々な視点で捉えることが出来るようになる。
- ・授業が主体性を大事にするスタイルのため自分で物事を考える力が身につく。

2.先生について

- ・基本情報
水無田気流・社会学者・社会科学入門、ジェンダーと経済、日本の経済
- ・性格
講義聴講型のスタイル、気さくな人柄

3.年間スケジュール

1) 演習 I (2年生後期)

- ・前半は毎回の授業で先生が講義を行った後にその内容についてディベートを行う。
- ・後半ではテキスト読解を行いグループごとにプレゼンテーションを行う。

2) 演習 II A・B (3年生)

- ・前半ではアカデミックライティングの基礎を学び、後半ではゼミ論テーマを決定し、報告を行う。

3) 演習ⅢA・B(4年生)

- ・ゼミ論をベースにした卒論を書き上げ、卒論の内容について報告を行う。
- ・1月頭に卒論を提出する。

4. 年間予算

- ・フィールド実習、交通費、映画鑑賞(1500円)
 - ・教材代 例：多様な社会はなぜ難しいのか(約1500円)
- 年度によって違うと思いますが、およそ5000円となっております。

5. ゼミ生の志望動機

- ・社会科学を専門とする先生のもとで自分の知識を広げられると思ったから。
- ・近年のジェンダー意識の高まりの影響もあってゼミの扱う分野に興味があり、ゼミに入ってジェンダーの多様性の歴史や問題について詳しく学びたいと思ったから。
- ・社会科学という幅広い分野を学ぶことによって卒論のテーマの選択肢が広がると思ったから。

6. ゼミ生の卒業論文の例

- ・消費社会とプロモーション
- ・スポーツにおけるジェンダー格差
- ・渋谷再開発の文化的意義と持続可能性に向けての展望
- ・観光地の土地利用政策と外資規制の分析を軸に～

7. 自由記述

水無田ゼミでは通常の授業とは異なりディベートやプレゼンなどを行うので生徒が主体となって物事に取り組む機会が多いです。そのため自分の考えを言語化する力や人前で発表する力がかなりつきます。他のゼミ生から様々な意見を聞くことが出来るので自分に無かった考え方や価値観に触れることで勉強になる部分があります。

また現在問題意識の高まっているジェンダー問題や異文化問題、消費行動論をテーマとして取り扱うため、幅広く社会的実用性があるものを学べるゼミになっています。

「ジェンダー」「広告」「サブカルチャー」などに興味のある方、ぜひ水無田ゼミにお越しください！

宮下ゼミ

◆研究テーマ：マーケティングと消費者心理

私たち宮下ゼミは、“マーケティングと消費者心理”について学んでいます。日経MJ(日本経済新聞が発行するマーケティング新聞)の購読を通して、国内外問わず、広い視野からマーケティングの基礎や現代ビジネスにおける最新トレンド、顧客動向などについて理解を深めています。さらに2.3年次では、ビジネスコンテストにも積極的に挑戦し、身につけた知識を用いながら実践的なマーケティングを学んでいきます。こうした、インプット・アウトプットを共に経験できる活動の中で、総合的なマーケティングスキルの向上に取り組んでいます。

1. 宮下ゼミについて

宮下ゼミでは、グループワークを中心とした主体的な学びを大切にしています。互いの強みを認め合い、吸収し合うことで、ゼミ生同士が刺激し合いながら成長していく環境が整ったゼミです。学ぶことに貪欲で、個性が光る学生が多く集まっており、それぞれが自分の強みを活かしながら、課題に真摯に向き合い、互いの成長を後押ししています。

基本的に各学年に分かれて活動していますが、先輩方との合同ゼミやお昼会、他ゼミとの成果発表会など、同学年の交流はもちろん、学年・ゼミの壁を越えた繋がりがあることも特徴の1つです。こうした様々な交流を通して、マーケティングの学問としてだけでなく、人として成長できる機会に溢れたゼミであると感じています。

2. 先生について

担当教員：宮下雄治先生 専門分野：マーケティング

担当授業：基礎演習A、マーケティングの基礎、ビジネスデザイン

人柄：ゼミ生一人ひとりとのコミュニケーションを大切にくださる温かい雰囲気を持った先生です。勉強の話からアルバイト・部活・サークル・趣味などゼミ生の私生活に関する話まで積極的にして下さいます。ゼミ活動で困難に直面した際には、私たちの状況や気持ちに寄り添いながら、的確に助言して下さり、いつも私たちの背中を押して下さる愛に溢れた先生です！

3. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ (2年後期)

- ・学内外のコンテスト(外部ビジネスコンテストに全員参加)
- ・3ゼミ合同発表会(昨年度は3つのグループが入賞)

2. 演習ⅡA・B (3年生)

- ・「日経MJ(マーケティングジャーナル)」の購読
- ・マーケティング検定
- ・ゼミ内でビジネスコンテスト実施および外部コンテストへの参加

3. 演習ⅢA・B (4年生)

- ・卒業論文の作成
- ・ゼミの後輩へ向けた就活活動の報告会

※ここ数年合宿は行っておりません。

4.年間予算

- ・教科書

宮下雄治 (2023) 『新時代のマーケティングーデジタル経済を動かすキーワードー』 八千代出版…1800 円

宮下雄治 (2024) 『こうして顧客は去っていく サイレントカスタマーをつなぎとめるリテンションマーケティング』 日本実業出版社…1700 円

- ・日経 MJ 購読料：月額 2800 円×4=11200 円

⇒総額：14700 円

5.ゼミ生の志望動機

- ・マーケティングを学べる！

外部のビジネスコンテストへの参加から日経 MJ の購読、マーケティング検定の勉強を通して、グループワークによる実践的な学びだけでなく、座学による知識も身につけられると感じました。実際に宮下先生の授業を受講したことをきっかけに関心を持ち、より深く学びたいと考え志望したゼミ生もいます。

- ・個性豊かなゼミ生！

ゼミ生の人数が多く、いろいろな個性を持った人たちと関わることで、お互いに刺激を受けながら、自分自身の成長へとつなげることのできる環境であると感じました。また、みな向上心が高く、主体的に学ぶ姿勢を持っていることも魅力のひとつです。

6.ゼミ生の卒業論文の例

「応援消費の現代的特徴」, 「UGC が消費者の購買意思決定に与える影響」, 「アイドル市場におけるマーケティングと消費者心理」, 「インド市場における日本企業のマーケティング戦略」, 「SDGs 時代における素材メーカーのマーケティング戦略」, 「AI が消費行動に与える影響に関する研究」, 「国内プロスポーツにおけるマーケティング戦略」, 「日本と海外の広告の比較分析」, 「コンビニエンスストアの国際比較研究」, 「スーパーマーケットにおけるマーケティングの比較分析」

7. 自由記述

最近本ゼミでは、「新しい自分に会いに行く」をテーマに活動しています。ゼミを通して、まだ見ぬ新しい自分に合ってほしいという想いのもと、多様な経験の機会を用意しています。継続して主体的に取り組める方、新しい一歩を踏み出したい方のご応募をお待ちしています！！

吉野ゼミ

◆研究テーマ：財務会計

企業が財務諸表をどのように作成するのか、公表された財務諸表がどのように利用されているのか等について、関連する会計理論と併せて学習します。國學院大學の授業科目でいえば、「会計入門」や「財務会計」の学習内容をより深く研究するイメージです。

1. 吉野ゼミについて

・ゼミでは、卒業論文の報告を除き、原則として学年毎に運営しています。普段のゼミは、個人作業が中心ですが、インターゼミやゼミ成果発表会等のイベントの時期は、グループワークが中心になります



2. 先生について

担当教員は、「会計入門」や「簿記の基礎」、「財務会計」等の授業を担当している吉野真治先生です。大学教員になる前は、公認会計士として企業の監査業務やコンサルティング業務に従事していました。また、公認会計士試験の受験予備校で講師をしていたこともあるそうです。

3. 年間スケジュール

1. 演習Ⅰ（2年後期）

・財務会計の基本書の輪読＋学内インターゼミ

2. 演習ⅡA・B（3年生）

・財務会計の基本書の輪読＋学外インターゼミ＋ゼミ成果発表会＋夏合宿

3. 演習ⅢA・B（4年生）

・卒業論文の執筆＋関連する文献研究

4. 年間予算

・教科書代：4,950円（「財務会計」の授業で使用した教科書を持っている人は不要です。）
・合宿費：20,000円程度

5.ゼミ生の志望動機

「将来の目標が明確であった人」

- ・公認会計士・税理士になりたいから、経理や財務に関する仕事をしたいから、会計学をしっかりと勉強してみたいから

「将来の目標が明確でなかった人」

- ・「会計入門」の講義を受けてまあまあ興味が湧いたから、先生が厳しくなさそうだったから

6.ゼミ生の卒業論文の例

(令和9年度卒業予定の例)

- ・リース会計に関する研究, 減損会計に関する研究, 中小企業会計に関する研究

7. 自由記述

- ・会計をより深く学びたいと考えている皆さんの応募をお待ちしています！！



冊子作成者

ゼミ個別ブース相談会プロジェクトリーダー

深澤 璃青